

平成29年12月21日

各位

会社名 株式会社グローバルグループ
代表者名 代表取締役社長 石橋 宜忠
(コード: 6189、東証第一部)
問合せ先 財務 IR 部長 生川 雅也
(TEL. 03-3221-3770)

企業主導型保育事業開始に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社グローバルキッズは、平成29年4月より企業主導型保育事業（以下「当事業」）を開始いたします。当社のコンサルティングにより開園した保育施設とその関連施設、およびグローバルキッズ南花畑園（足立区）計13施設で集合体を組成し、当事業を推進します。これにより、当社グループ社員および運営提携先企業の社員の子育て受け皿を拡充し、安心して働きやすい環境整備を強力に推進するとともに、保育事業のより一層の拡大につなげてまいります。

記

1. 当事業開始の目的

待機児童解消を目指した保育の受け皿整備のひとつとして、政府は事業所内保育業務を目的とする施設等の設置者に対する助成及び支援を行う企業主導型保育事業を推進しております。

企業主導型保育事業の助成決定企業は、昨年の上3倍以上の開設申請があるなど企業の関心は高く、2017年10月31日現在1,511施設・定員35,508人となっています。政府は2018年9月末までの二次募集で、施設数を積み増し70,000人の定員数を確保する方針を示しております。

しかし、待機児童が集中する都内での用地や物件の不足、利用者への企業主導型保育事業の周知不足、定常的に一定数のお預かりするお子様の数を満たせない企業枠等、課題も多くあるのが現状です。

また、株式会社グローバルキッズでは2017年11月30日現在約90人の産休・育休取得中の社員が在籍しています。これらの保育従事者達が出産後・育休明け後も安心して職場に復帰し働ける環境を提供するため、自社保育者向けの子育ての受け皿整備が必要であると判断しました。

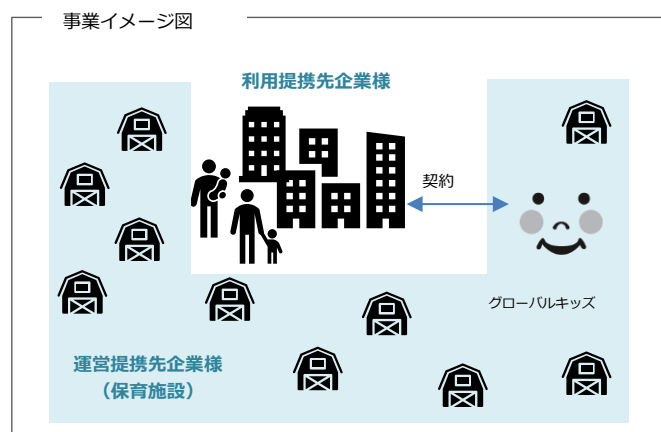
以上のことから、株式会社グローバルキッズおよび同社が開園コンサルを提供した企業他と共同で「共同設置・共同利用型」の企業主導型保育事業を展開するに至りました。複

数企業によりエリアの異なる複数保育施設の施設集団を形成することで、利用者側にも保育施設側にもメリットのある使い勝手の良い形態を構築し、当社・運営提携先企業の社員も利用しやすくし、早期の職場復帰を支援してまいります。

2. 当事業の概要

当事業提携先予定企業（参加保育保育施設）：

- ・グローバルキッズ運営施設（南花畑園）
- ・キッズラボ株式会社運営施設（キッズラボ第一横浜楠町園、同第二横浜楠町園、同菊名園）
- ・東京建物キッズ株式会社運営施設（おはよう保育園三ツ沢下町）
- ・株式会社アルコバレーノ運営施設（保育ルームフェリーチェ中野新橋園、同高円寺Ⅱ園、同日黒園、同柏Ⅱ園、座間Ⅱ園）
- ・株式会社トーリツ運営施設（coco smile アリオ葛西園）
- ・辻村人財コンサル株式会社運営施設（繭の糸こども園・同神楽坂保育園）



3. 今後の展開

4月のスタートに向け、受入れ施設数を順次拡大し2018年9月末までに100施設を目指しております。また、保険会社・金融機関・商業施設等、利用者サイドの法人契約獲得にも乗り出し、同50社との契約を目指します。

コンサルティング先以外の事業者が運営する施設については、当社の規定する研修計画への参加を必須とし、質の確保を図ってまいります。

4. 今後の見通し

本件による当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であります。今後、業績に与える影響が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。

以上